

令和6年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 松江保育園

テーマ「運動遊びを通して 感触 感覚を楽しむ」



自園の幼児クラスは、1クラス 12 名で、普段からよく交流を持ち遊んでいます。定期的にホールに
巧技台、一本橋、滑り台などを設定して、ひとつひとつクリアしていくサーキット遊びをしたり、毎日
15 時以降の時間に、いろいろな身体の部位を動かす運動遊びをしたり、活発に身体を動かしてきました。
その中で、身体を動かすことが楽しい！もっとやってみたい！という子ども達の姿が見られたため、
感覚を意識した遊びをたくさん経験してきました。

「体が伸びると
気持ちいい〜！」

子ども達と考えたサーキット会場

「からだ
が
クククする〜」



回数を重ねるごとに、保育者が設定したサー
キットに、「こうしたらいいんじゃない？」と
子どもたちのアイデアが加わります。

芝マットの上を、椅子でぐる
ぐるのは子どもたちの案でし
た。顔をスリスリしたり、感
触を楽しんでいました。

足先を頭の方まで持ってき
たり、体をたくさん伸ばし
て気持ちよさそう！

「せんせー！！
手と足が固くなって
きたみたいー」

手足に力が入っているのを
感じたようです。

「おっとっ！
次はどうや
って遊ぼうか

バランスを取って遊んだ後、
中に寝転がって、ハンモック
のように揺れを感じ、遊びを
工夫していました。



『感触・感覚』というテーマを、運動遊びを通して感じ、楽しめるように、様々な遊具を用意して、
コースを作り、サーキット遊びを楽しんできました。魅力的なサーキットの遊び場を見ては、「わあ〜！
たのしそう！やってみたい！」と目を輝かせ、夢中になって遊びだす子どもたちの姿がありました。体
を動かすことの気持ちよさを感じながら、体の使い方を知り、上手になっていく感覚をつかむと、今度は
「こうしてみたい！」と、少し高めの設定を要求してきたり、「もっとこんなことがしてみたい！」
と遊び方を提案してきたりと、その子どもの主体性を大切にしながら、保育士も遊びを組み立て、一緒
になって楽しんでいます。

今後も、子ども達の興味と関心、気づきや発想を形にしていきながら、ワクワクするような遊びを通
して、たくさんの「感触・感覚」を体で感じていきたいと思います。